

## 病児保育を、手のひらに。病児保育支援システム「あずかるこちゃん」

あずかるこちゃんは、保護者と病児保育室をつなぐ、病児保育の検索・予約サービスです。

保護者はいつでも簡単にLINEやWebから病児保育を検索、予約が可能。病児保育室のスタッフにとっては、煩雑な事務作業から解放され保育に集中できます。さらに導入自治体では、地域にあるすべての病児保育の情報を一元管理できるようになり、保護者のみならず、病児保育室、自治体が三方よしの形で病児保育事業を行えます。

<https://azkl.jp/>



## 病児保育は、子育て世代の強い味方

病児とは、風邪など入院するほど重篤ではないものの、保育園・学校などを休まなければならない子どものことです。病児保育は、仕事が休めないなどの理由で病児をみることができない保護者に代わって一時的に子どもを預かってくれるサービスです。専門的な知識を持った保育士、看護師が子どもの病状に合わせて保育看護を提供します。また、病児保育室には保育室に加えて「隔離室」があり、二次感染を防ぐため、病気の種類によって過ごす部屋を分けて保育看護を行うほか、徹底的な標準的予防策を行っています。

## 利用につながらない、病児保育の課題と背景

内閣府の調査(※1)によると、全国の病児保育室の利用率は約30%と言われています。大分県には病児保育室が30施設(2020年現在)あり、5歳未満の人口1万人あたりの施設数は6.6施設で九州で1位、全国でも10位と施設数は比較的多く設置されています。しかし、大分県の病児保育のサービス利用率は、全国と同様約30%(※2)と、十分に活用されているとは言えない状況です。

この大きな原因は、認知不足に加え、いつでも満室というイメージや、提出書類が多く電話で予約しなければいけないといった利用方法の煩雑さであると考えられます。大分県ではこれまで一部施設を除き、保護者が空き情報の確認や、予約を行うためにはスタッフのいる時間帯に電話をするしか方法がありませんでした。

※1「病児保育事業について」／内閣府(平成25年12月11日発表)：

[https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/kodomo\\_kosodate/b\\_9/pdf/s4-2.pdf](https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/kodomo_kosodate/b_9/pdf/s4-2.pdf)

※2 大分県資料

## あずかるこちゃん導入で、病児保育をもっと身近に

今回、病児保育室の予約システムとしてあずかるこちゃんを導入することにより、空き状況はリアルタイムに見える化され、保護者は仕事や家事のちょっとした合間や病児保育室が閉まっている夜間でもすぐに、あずかるこちゃんから空き情報の確認や予約申込、キャンセルを行えるようになります。

また、これまで自治体へ事前に提出しなければならなかった登録用紙が廃止となります。代わりに、あずかるこちゃんを利用してスマートフォンから事前登録できるようになり(※3)、利便性も向上します。

※3 一部施設ではあずかるこちゃんをご利用いただくことができません。利用方法の詳細につきましては自治体または病児保育室のWebサイトをご確認ください。

今回の取り組みによって、これまで保護者にとって使いづらいイメージのあった病児保育を、もっと身近で安全な事業としてみなさまに届けてまいります。



Connected Industries株式会社(CI Inc.)

<https://ci-inc.co.jp/>

プレスリリースに関する報道関係者様向けお問い合わせ

大分県 福祉保健部 こども未来課 子育て支援班 担当:森下 直也 TEL:097-506-2712

Connected Industries株式会社 担当:園田 美奈 TEL:050-3703-2017 Mail: [pr@ci-inc.co.jp](mailto:pr@ci-inc.co.jp)